

## 総務

※各常任委員会の所管部署  
 政策秘書室・総務部・財務部・  
 会計課・行政委員会事務局等

### 行政センター開設には 利用者の安全確保を

#### 〔行政センター条例〕

同センターは、出張所、商工振興スペース、子育て支援施設、配本所の4つの機能を有し、準備を進めているが、6月下旬の開所に際しては、適切な人材を配置し、安全管理に十分注意したいとの説明がありました。

#### 〔一般会計予算〕



▲ 6月30日、行政センターが戸田公園駅前にオープン

I・T推進費では、委員から、昨年の当委員会が、年間テーマとして調査研究した、クラウドコンピュートイング推進の検討状況と、I・T経費削減に向けた取り組みについて質疑が出され、執行部からは、業務に対するクラウドコンピュートイングの適否の見極めや、情報管理上

の問題点を整理し、調査研究してきたいとの説明がありました。また、I・T経費削減に向けた取り組みとしては、システム調達支援として、コン

サルタント業者を含めて担当職員により、新年度予算計上分として33件審議した結果、1億1500万円程度を減額したとの説明がありました。

## 文教・建設

都市整備部  
 教育委員会

### 住宅政策に取り組み 部署の設置を要望

#### 〔一般会計予算〕

土木費・交通安全施設費では、歩道の路面塗装が緑色からベージュに変更されたことについて質疑が出され、歩行者の安全を優先した上で、景観に配慮して切り替えを行っているとの答弁がありました。

建築費では、高齢者の住居確保や望ましい住宅形成について、住宅政策の担当を設けて取り組んでほしいとの要望があり、関係部署も交えて検討していきたいとの答弁がありました。



▲ 昨年の10月に開設した下笹目住宅

を高めるために必要であることから賛成であるという意見が交わされました。

図書館費では、特色のある蔵書について質疑があり、ポータルに関する資料を全国から集めており、全国のポータルマンが本市図書館に立ち寄って資料を閲覧し、その感想がブログ等に掲載されているとの答弁がありました。

## 委員会の審査から

こんな質問、あんな意見もありました

総務常任委員会  
 文教・建設常任委員会  
 健康福祉常任委員会  
 市民生活常任委員会

## 健康福祉

福祉部・子ども青少年部  
 福祉事務所  
 医療保健センター

### システム改修費用の 削減に、さらなる努力を

〔一般会計予算〕  
 衛生費の成人保健事業費では、自殺予防に関し、基本的な調査を進め、現状分析できる環境を整え、積極的に進めてほしいとの要望がありました。

また、食育指導に關して、戸田市食育推進計画において、保健センターが各部署の上位組織となり、指導していくようにしてはどうかとの意見に対しては、市民の健康づくりを支援する担当を設け、対応したいとの答弁がありました。

労働費の勤労青少年ホーム費では、現在、下戸田地区の中心となる施設整備



▲ 子育てを支援する施策の充実が図られています

が求められていることから、将来的に福祉センターや勤労青少年ホームを検討する際には、名称や在り方などを検討するよう要望がありました。

#### 〔一般会計補正予算 (21年・22年)〕

子ども手当導入に関する費用の補正であり、シ

## 市民生活

市民生活部  
 消防本部  
 水道部

### 全市民への情報提供方法 について検討を要望

#### 〔一般会計予算〕

行政振興費の行政連絡費補助金について、全戸配布は、町会に届けられてから非常に負担がかかるので、回覧用と全戸配布の基準を決めてもらいたいとの意見が出されました。

また、行政連絡費補助金の世帯数が、前年度と比較して700世帯減少していることについて、集合住宅に住む単身世帯が広報を読まないことから、その分を減らして町会から申請があったためとの答弁がありました。これに対して、現在、議会改革特別委員会におい

る場合には、国へ負担を求めように働きかける要望がありました。

また、国の対応が、地方自治体の意思と大きく

かけ離れていることから、国に対し、「子ども手当の導入における過大な地方負担に反対する意見書」を提出しました。

て、いかにして全市民に情報提供を図るかを協議しており、市でも全市民に伝えられる方法を検討するよう要望がありました。

0万円のコースがあります。スケジュールとしては、5月中旬ぐらいまで申請を受け付け、その後書類審査、6月に公開プレゼンテーション、7月上旬までに交付決定をし、速やかに補助金を交付していきたいということがありました。

市民活動推進事業の市民活動サポート補助金は、市民活動団体の実施事業に対して補助をすることにより、自主的・自立的な活動を促進し、市民活動の活性化を図るために新たに設ける制度であり、限度額20万円と10



▶ 広報など町会配布物の積み込み作業

委員会	年間テーマと活動内容
総務	1. 公契約のあり方について
文教・建設	1. 今後の給食単独調理場の建設について 2. 自転車の似合うまちづくりについて
健康福祉	1. 高齢者施設の研究 2. 子どもの権利条例制定の研究 3. 福祉保健施設活用について
市民生活	1. (仮称)戸田市中小企業振興条例について

### 新たなテーマで 動き出します

委員会は、議案や請願の審査のほかに、所管の範囲で調査事件を定め、能動的に市政に関する調査活動を行うことができます。

平成22年における各常任委員会の活動テーマは左記のとおりです。昨年のテーマと成果は18ページをご覧ください。